⑸―１．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については国債、地方債、政府保証債、預金に限定し、資金調達については国立大学財務・経営センターからの借入に限定しております。

資金運用にあたっては、国立大学法人法第35条が準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき、預金のみを保有しており株式等は保有しておりません。

また、未収附属病院収入は、本学会計規定に沿ってリスク管理をしております。

国立大学財務・経営センター債務負担金及び長期借入金の使途は附属病院の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入を実施しております。

⑸―２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

〔単位：千円〕

| | 貸借対照表計上額（＊１） | 時価（＊１） | 差額（＊１） |
|---|---|---|---|
| ①　現金及び預金 | 4,713,883 | 4,713,883 | ― |
| ②　投資有価証券及び有価証券 | 2,400,000 | 2,400,000 | ― |
| ③　国立大学財務・経営センター債務負担金 | (4,573,044) | (4,982,881) | (409,837) |
| ④　長期借入金 | (12,337,193) | (12,734,353) | (397,160) |
| ⑤　未払金 | (4,441,959) | (4,441,959) | ― |

（＊１）負債に計上されているものについては、(　) で示しております。

（注１）金融商品の算定方法

①　現金及び預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しい事から、当該帳簿価額によっております。

②　投資有価証券及び有価証券

譲渡性預金の時価については、新規に預金を行った場合に想定される預金金利で割り引いた現在価値によっております。

③　国立大学財務・経営センター負担金、④　長期借入金

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入を行なった場合に想定される利率で割り引いて算定する方法により算定しております。

⑤　未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑹　賃貸等不動産関係

当法人は秋田県において、賃貸等不動産を保有しておりますが、賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

⑺　資産除去債務関係

ダイオキシン類対策特別措置法の規定に基づく焼却炉のダイオキシン除去義務、放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律の規定に基づく放射線同位元素等を使用している建物の放射線の除去義務であります。

使用見込期間は34年から49年と見積り、割引率は2.2％を使用して計算しております。

| | |
|---|---|
| 期首残高 | 9,703千円 |
| 時の経過による調整額 | 102千円 |
| 期末残高 | 9,805千円 |

（損益計算書関係）

⑴―１．国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元本償還額に充てた額は、807,964千円であります。

当該借入金により取得した資産の減価償却費は、797,345千円であります。

当期総損失に与える影響額（差引）は、10,619千円であります。

⑴―２．国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した診療機器資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額は、4,849千円であります。

当期総損失のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するものの合計額は、15,468千円であります。

⑵　補正予算により、東日本大震災により被災した学生等に係る授業料等免除事業94,611千円、東日本大震災により被災した設備に係る災害復旧事業17,146千円の運営費交付金が措置されており、そのうち、96,994千円が運営費交付金収益に計上されております。

（キャッシュ・フロー計算書関係）

⑴　資金期末残高の貸借対照表科目別の内訳

| | |
|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 4,713,883千円 |
| 資金期末残高 | 4,713,883千円 |

⑵　重要な非資金取引

①　ファイナンス・リースによる資産の取得

| | |
|---|---|
| 工具器具備品 | 259,048千円 |
| 合計 | 259,048千円 |

②　寄附物品の受入

| | |
|---|---|
| 土地 | 15,824千円 |
| 建物 | 42,565千円 |
| 構築物 | 2,702千円 |
| 工具器具備品 | 169,847千円 |
| 医療工具器具備品 | 27,000千円 |
| 図書 | 5,059千円 |
| 合計 | 262,997千円 |

４．減損に係る注記

１．減損を認識した固定資産

⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

〔単位：千円〕

| 用　途 | 種　類 | 場　所 | 帳簿価額(減損前) | 帳簿価額(減損後) |
|---|---|---|---|---|
| 医学部附属病院西病棟 | 建物 | 秋田県秋田市 | 386,187 | 346,066 |
| 戸賀臨海実習所 | 建物 | 秋田県男鹿市 | 2,063 | 0 |
| 八郎潟艇庫 | 建物 | 秋田県南秋田郡大潟村 | 925 | 0 |

⑵　減損の認識に至った経緯

医学部附属病院西病棟については、改修工事のため病棟の一部を使用しないという決定を行なったため、減損を認識しております。

戸賀臨海実習所については、利用率の低下により使用を停止したため、減損を認識しております。

八郎潟艇庫については、今後の使用が見込まれないため、減損を認識しております。